

# くすりと健康のはなし

# 薬包紙

第75回

一般社団法人岐阜県薬剤師会  
医薬品情報委員

高島友理子



今冬開催された平昌オリンピック、日本は金メダル4個を含む13個のメダル獲得と、大変に盛り上がりました。次はいよいよ2020年東京でのオリンピック開催です。ただ今回残念だったのが、参加選手からドーピング陽性反応が出てしまったことです。

こんなにも大きな問題として取り上げられてしまうのに、なぜ選手はドーピングをするのでしょうか？そもそもドーピングって何でしょう？

昔アフリカの民族は、恐怖心を無くすため「ドーブ」という強い酒を飲んで戦いに出たといわれています。この「ドーブ」が興奮性の飲料を指すようになり、興奮剤を使用することを「ドーピング」と呼ぶようになりました。

現在のスポーツでは、大きな大会で勝利すると、名誉とお金が入るといわれています。これらを手に入れるために、ドーピングは後を絶ちません。

ドーピングは不正な行為であり、副作用の面からも健康への影響が問題とされています。しかし選手の手

## ご存知ですか？スポーツファーマシスト

中には、意図的でなくても、不注意により薬物を摂取してしまう場合もあります。

現在ドーピング違反の可能性をもつ成分は、数百〜数千もあるといわれており、毎年その成分リストは改定されます。これら全てを選手自身が把握しておくことは、大変なことです。

これを解決するために、日本では世界で初めて、ドーピングについて最新の情報と知識を持った薬剤師の認定制度を設立しました。それが「スポーツファーマシスト」です。現在、日本では約8700人の薬剤師がスポーツファーマシストとして認定されています。

トップアスリートだけでなく、小・中学生への正しい薬の使い方呼びかけ、薬を服用している中高年の方々が安全にスポーツを楽しむるためにも、今後スポーツファーマシストは、よりみなさんの身近な場所に活動の場を広げていきます。「スポーツファーマシスト」のステッカーが貼つてある薬局を見つけたら、ぜひ気軽に相談に立ち寄ってみてください。